

夏の省エネ・節電対策の結果について

中部電力浜岡原子力発電所の全面停止を受け、夏場の電力不足が懸念されたため、5月20日に省エネ・節電対策推進本部（本部長：市長）を設置し、様々な節電・省エネ対策を行ってきた。今回、削減目標を設定した7月から9月に実施した省エネ・節電対策の結果がまとまったので報告するもの。

1 本庁舎等における電力使用量の削減結果（7月～9月）

		平成22年度実績(kWh)	平成23年度実績(kWh)	削減量(kWh)	削減率(%)
本庁舎	7月	98,532	80,568	17,964	18.2
	8月	107,868	94,320	13,548	12.6
	9月	79,044	59,808	19,236	24.3
	小計	285,444	234,696	50,748	17.8
北庁舎	7月	5,969	5,140	829	13.9
	8月	6,026	5,097	929	15.4
	9月	5,534	4,009	1,525	27.6
	小計	17,529	14,246	3,283	18.7
東庁舎	7月	12,000	9,676	2,324	19.4
	8月	14,674	11,530	3,144	21.4
	9月	11,516	8,561	2,955	25.7
	小計	38,190	29,709	8,423	22.1
合 計	7月	116,501	95,384	21,117	18.1
	8月	128,568	110,947	17,621	13.7
	9月	96,094	72,378	23,716	24.7
	合計	341,163	278,709	62,454	18.3

※削減量62,454kWhは、一般家庭約6,800世帯分の1日あたりの電気使用量に相当

**『前年度同月比電力使用量の削減目標（7月～9月）12%』について
7月～9月の削減実績は18.3%で目標達成！**

【主な削減原因】

- ◆ 空調機の稼働時間の短縮や、7月下旬から9月上旬にかけて台風や前線の影響などにより天候不順の日が多かったこともあり、空調機の稼働日数で前年比約7%、稼働時間で約28%減少した。
- ◆ 本庁舎等の各職場における取組状況については、次頁のとおりそれぞれの対策について高い達成率であり、効果的な削減に結び付いた。

2 本庁舎等における取組結果（7月～9月）

毎週水曜日（省エネ・節電デー）に各所属における取組状況を各課エコ推進員がチェックし、省エネ・節電対策推進本部事務局で取りまとめたもの。

照明関係		達成率
	昼間及び残業時は不要な点灯はしない。	100.0%
	席を離れる場合及び昼休みは消灯する。	99.0%
	窓際は原則消灯する。（晴天時など）	91.6%
		消灯率
	蛍光灯の使用を4割程度削減する。	48.6%

※消灯率4割の目標は達成

OA機器関係		達成率
	パソコンディスプレイの輝度（明るさ）を40%程度まで下げる。	83.6%
		達成率
	休憩時間中における庁内情報用パソコンの使用を原則禁止する。	76.9%
		達成率
	30分以上使用しない場合及び昼休みは、OA機器等の電源を切る。	90.3%
	待機時消費電力を削減するため、退庁時には、不要なOA機器等のコンセントプラグを抜き取る。	94.3%
		達成率
午後1時から3時までは、コピー機や印刷機による大量印刷は極力控える。	94.9%	

その他の		達成率
	各種会議は、朝夕の過ごしやすい時間帯に原則開催する。	98.5%
		達成率
	電気ポット等の使用は自粛する。	93.2%
		自粛率
	全庁統一のノー残業デー（水曜日）を徹底し、節電に努める。	95.9%
		着用率
省エネ・節電デーについては、芭蕉ミナモポロシャツまたは白ポロシャツの着用を推奨する。	10.8%	

※達成率：対策を実施又は概ね実施